



= 渥美町の合併協議申し入れにどう応えるべきか =

合併に関する 行政懇談会を 開催しました

去る5月24日(月)、渥美町から田原市への編入合併について協議の申し入れがありました。田原市としては、この申し入れに対して真摯に取り組み、慎重な判断を下さなければなりません。そこで、この問題に関する経過などを市民の皆さんに説明してご意見を伺うため、6月15日(火)～24日(木)の日程で行政懇談会を開催しました。ここでは、懇談会における市長の主な説明内容を要約してお知らせします。

渥

美町が合併協議の
申し入れるに至るまで

平成14年7月の3町合併協議の不振後、田原町と赤羽根町が合併し、昨年8月に田原市となりました。この間、渥美町では前町長が健康上の都合により昨年5月に辞任され、その後7月に、いずれも合併推進を掲げた候補者による町長選挙があり、現町長が当選されました。

渥美町長は、本年に入り田原市への編入合併を進め、議会は推進派と慎重派に分かれ、双方の主張を掲げたチラシの配布など混乱もありましたが、5月23日(日)には「渥美町

白井孝市田原市長

[説明要旨]

が田原市へ編入合併することについての意思を問う住民投票」が実施されました。

投票結果は投票率75%、賛成者85%という渥美町民の大多数の方が合併を望むというものでした。これは、編入合併でも構わないという前提の中では、大変重い数字であると感じます。恐らく、賛成票を投じた多くの皆様は、町財政への心配に加え、当局と議会の一連の動きなどへの反発から、将来に対して危機感を抱かれた結果ではないかと思われます。

この結果を受け、5月24日(月)、渥美町から田原市へ正式な合併協議の申し入れがありました。

なお、渥美町当局や意見が分かれていた渥美町議会では、一体となつて合併問題に取り組むよう6月1日(火)に合併推進の決議が行われました。

申

し入れに対する
田原市の検討方法

今回の申し入れは、前回の3町合併協議の不調から2年足らず、田原